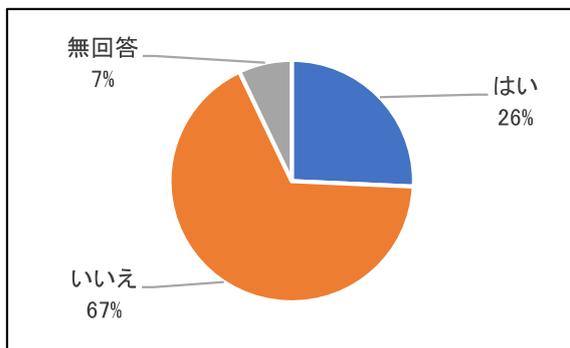
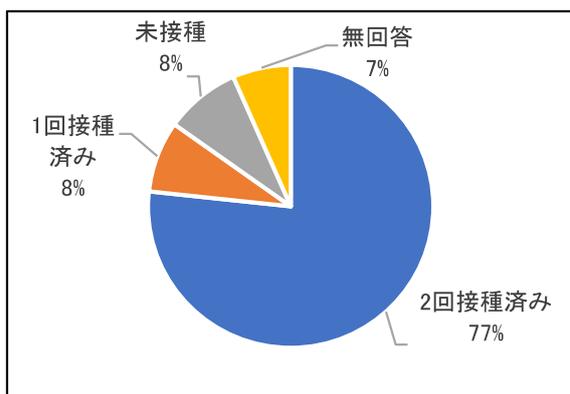


質問 9.日本国内の COVID-19 ワクチン接種の多言語情報を見たことがありますか。



人は 98 名（22%）で、このような情報環境の中では十分な日本の状況やワクチン接種に関する情報を入手するのは難しいと思われます。COVID-19 は新しい感染症で、専門用語も多い医療関係の情報は日本語だけでは難易度が高く、もっと多言語情報の存在を広め、アクセスしやすい環境、情報が必要です。

質問 10.あなたは COVID-19 ワクチン接種をしましたか。



質問 12 では、未接種の人に今後の接種予定を聞いたところ、健康等の理由で接種の予定がない人もいましたが、49%の人は今後の接種を希望していました。また質問 13 では回答者全体に対して今後、ワクチン接種のサポートを受けたいかという質問をすると、3割以上の方が希望しました。その中にはまだ接種をしていない人だけでなく、すでに 2 回のワクチン接種を終えている人も含まれていました。

調査した 11 月には、話題になっていませんでしたが、現在は 3 回目のワクチン接種が行われています。3 回目のワクチン接種の手続きについて十分な情報が届いているのでしょうか。COVID-19 の状況も日々変化し、また世界的にはそれぞれの国の対応の仕方も変化してきました。言語による情報弱者が生じないように、多言語情報の充実とそしてその情報へのアクセスのしやすさが課題だと思います。今回つながりを持てた回答者に調査結果を生かす必要な情報やサポートが届くよう活動を行っていきたいと思います。

質問 8 では、日本国内の COVID-19 ワクチン接種に関する多言語による情報発信があることを知っているかと聞きました。知っていると回答したのは 45%でした。つまり、半数以上の方がその存在を知りませんでした。

質問 9 では多言語情報を実際に見たことがあるのかを質問していますが、実際に見たことがある人は 26%でした。日本のメディアも多言語情報も見えないと回答した

質問 10 ではワクチンの接種状況を聞きました。調査時点の 2021 年 11 月に 2 回接種が終わっている人は 77%、1 回接種が終わっている人は 8%でした。これは NHK 等で報道されている日本全体の割合とほぼ一致しています。また質問 11 では 89%の人がスムーズに接種予約ができたという回答をしています。ただ、国籍別にみると、接種予約がスムーズにできなかったという回答が高い割合のグループもあり、言語間やコミュニティ間で情報格差があったかもしれません。